

# コモリンピック Commolympic でつながる WA

河野修治・宮本史朗・三池史子

## communi ty：地域

人と人のつながりを形成するためのソフト的な仕組みづくりを目指す。

## commom：共有の、社会全体の

地域の共有財産を形成するためのハード的な場づくりを目指す。

## 高齢者の社会的孤立

- ・高齢者の孤独死問題
- ・高齢者のひきこもり問題
- ・昼間独居の高齢者が存在
- ・人とのネットワークから疎外
- ・「要支援」の介護サービス切り離しを検討

## 子育ての場所が近隣に欠如

- ・地域で遊ぶ機会が減少
- ・様々な経験の機会が減少
- ・子連れでの移動が困難で参加しなくても参加しにくい



## Commolympic 競技種目

- ◆スポーツ部門
  - ・健康体操
  - ・校区探検ウォークラリー
  - ・ストローサッカー etc
- ◆文化部門
  - ・校区カルタ
  - ・囲碁
  - ・将棋 etc
- ◆舞台部門
  - ・合唱・合奏
  - ・ダンス
  - ・寄席バトル etc



日々の練習の成果を Commolympic で発揮。

校区大会 (1年に1回)

区大会 (2年に1回)

市大会 (4年に1回)

## Commolympic 会場へ向けて

- ・所有者との交渉
- ・地域住民が協力し合って清掃
- ・不用品はフリーマーケットで処分
- ・その他ごみは地域ごみとして区役所が処分
- ・地域住民が管理、運営
- ・多世代が趣味を持ち、仲間と活動
- ・育成クラブから帰宅後の寺子屋
- ・介護予防や子育て支援などの出前講座
- ・Commolympic 会場として使用



## 住民参加による運営母体の形成

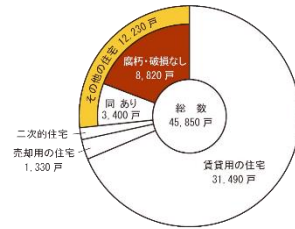
- ・できる人ができる範囲で
- ・一人ひとりが楽しみながら自主的に参加
- ・医者や看護師による救護班
- ・福祉施設による送迎
- ・学生の実習ボランティア
- ・口コミで誘い合い楽しい雰囲気を出
- ・県、市、主要な公益団体の広報支援
- ・清掃道具配布・貸出などの空き家支援
- ・固定資産税の減免

## 環

地域資源を循環させ、生活環境を保全する

## 使える空き家の放置

熊本市の空き家の約20%が「腐朽・破損なし」の空き家



家主にとって空き家賃貸の問題点

- ・荷物がある(特に仏壇)
- ・貸すには改修費がかかる
- ・貸したら戻ってこない
- ・経理が面倒
- ・風通しや庭の手入れの手間
- ・固定資産税や火災保険等の費用

## 空き家を地域住民が集う場として活用

- ・使える住宅を放置せず有効活用  
個人的な資産 → 地域に役立つ財産
- ・地域のなかで社会と関わる機会を創出
- ・歩行可能な範囲で地域に点在
- ・知的資源である高齢者と交流し、様々な暮らしの知恵や伝統を受け継ぐ場の創出

- ◆日常的なコミュニケーションの促進
- ◆高齢者の生き甲斐の場
- ◆一時利用を経て、有効活用され空き家が円滑に循環

## 和

互いに相手を大切に、協力し合う

## 輪

五区の輪を築き、人と人がつながる

## 湧

地域の個性化で、個人の生き甲斐が湧く

## 話

会話が生まれ、人と人のネットワークが派生する

## 期待される効果

- ◆多世代が趣味を持ち仲間との活動でコミュニケーションの輪が広がる
- ◆高齢者の引きこもり防止
- ◆子ども達の経験の場の創出
- ◆空き家活用で身近な交流の場を創出
- ◆日常的な見守りや非常時の支援体制の形成
- ◆他地域や他校区での大会開催で地域間の情報交換や交流促進
- ◆練習の場を活かして出前講座
- ◆ボランティア育成やジュニアヘルパーとしての見守り機能
- ◆地域包括ケアシステムの実現